

魅力あふれる鶴田町をおすすめ

# 鶴田町を首都圏にPR



△首都圏の頭部自慢が参加して行われた吸盤綱引き対決

「ツルタの恩返し」は、鶴田町の魅力や情報を多くの方へ伝え、「鶴田町へ行ってみたい」という来訪意欲の喚起につなげようと、平成28年から始まりました。イベントは毎年好評で、今回で3回目を迎えました。

ブースには、「魅力あふれる鶴田町をおすすめ」と書かれた横断幕が掲げられ、タンチョウや鶴の舞橋など町の観光資源を写真や動画で紹介しました。また、生産量日本一を誇るスチューベンの生果、ジュースやワインなどの加工品を販売。相川町長や町の生産者がスチューベンの糖度の高さやおいしい食べ方をPRすると、試食した方たちは「甘くておいしい」とその甘さに驚き、一つ、二つと商品を買って求めています。

夕方からは吸盤綱引き対決が行われ、今回は首都圏の12人が参加。行事を務めるツル多はげます会の須郷貞次郎会長の合図で参加者が頭頂部につけた吸盤を引っ張り合う様子に、会社帰りのビジネスマンなど多くの見物客が歓声を送っていました。



1



2



3



4

①イベントブースには買い物客や外国人観光客など多くの方が立ち寄りしました。②鶴田町PR隊長のつるりんも応援に駆けつけました。③④ブースに並べられたスチューベンの生果や加工品の品々

食や観光など鶴田町の魅力を首都圏にPRするイベント「ツルタの恩返し」が2月2日（金）、東京駅前の行幸地下通路（千代田区丸の内）で開催されました。

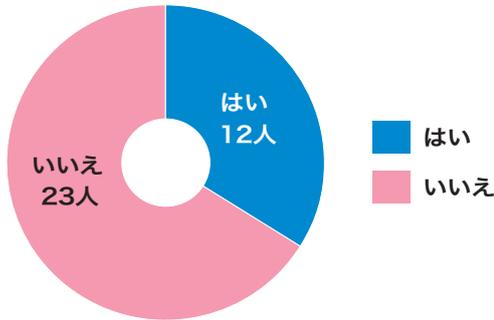
イベントでは、町特産のスチューベンを試食・販売したほか、ツル多はげます会による吸盤綱引き対決も行われ、多くの方が鶴田町のブースに足を止めていました。

## 首都圏における鶴田町の知名度はどのくらい？ イベントに訪れた方々へ聞いてみました！

### ◆青森県鶴田町を知っていましたか？

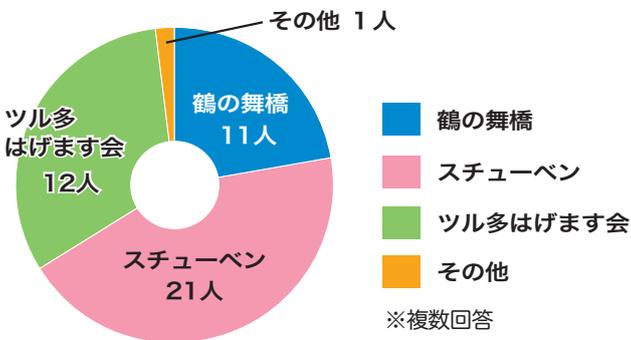
◆アンケート実施日：平成30年2月2日（金）

◆回答者数：35人



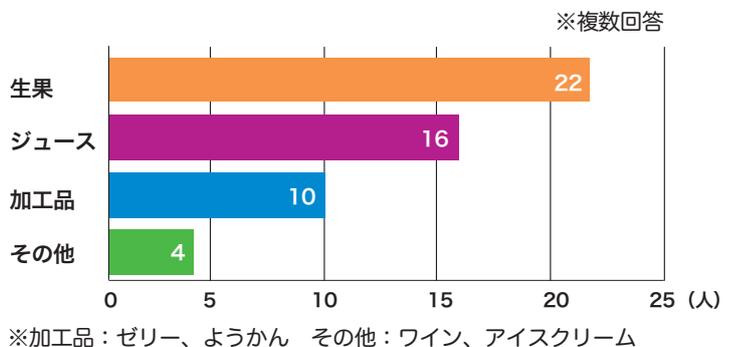
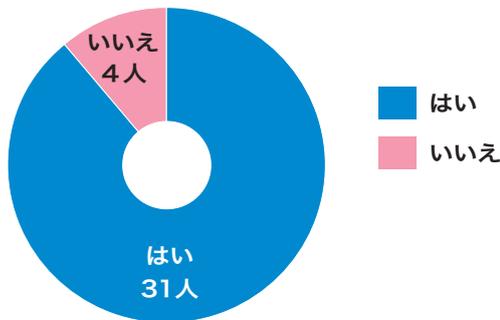
### ◆鶴田町の一番興味のあるものは何ですか？

- ・青森市からの車移動が面倒。直接アクセスできるのであれば行ってみたい（ツアーなど）（50代女性）。
- ・青森県内各地に言えることですが、宿泊施設が限られ、特にお祭りの時期は苦勞します。鶴田町は絶対伺いたい場所なので今回のイベントはありがたいです（50代女性）。
- ・横浜市内の酒屋でスチューベンワインを見て知っていました（30代女性）。
- ・スチューベンがおいしかった（20代女性）。
- ・鶴田町にまた行きたい！昨年末に鶴田町に行った。このイベントで鶴田を知り、ファンになった（70代女性）。
- ・生果を試食したら甘くておいしかった（50代男性）。
- ・もっと宣伝してください。アピールしないと知ってもらえないから（宮城県出身）（60代女性）。
- ・ブドウは好き。スチューベンは気になっていたので買った（40代女性）。
- ・ブドウが大変おいしかったです（50代男性）。
- ・交通の便をPRしてほしい（50代男性）。
- ・実際に鶴田町に行ったときに、鶴の舞橋以外に行くところがあるか知りたい（30代男性）。
- ・毎年このイベントをやってほしい（50代女性）。
- ・スチューベンを買える場所が知りたい（60代男性）。



### ◆青森県もしくは鶴田町に行きたいと思いませんか？

### ◆また食べてみたいスチューベン商品は何ですか？



## 首都圏の移住希望者向けセミナー開催

首都圏の移住希望者を対象とした首都圏移住セミナー「津軽の暮らし相談会西北エリア編（青森県、あおもり移住・交流推進協議会主催）」が2月10日（土）、東京都千代田区のふるさと回帰支援センターで開催されました。

当日は、当町を含めた西北地域の7市町が参加し、それぞれの地域の魅力や移住の施策をPRしました。

また、西北エリアで生まれ育った方や県外からの移住者によるゲストトークも行われ、当町からは、岡山県から移住してきた高森三樹さん（相原町）が参加。鶴田町へ移住してきたきっかけ、実際に暮らしてみて感じたことや鶴田町の魅力を話してくれました。トーク後には、個別の移住相談会も行われ、当町のブースを訪れた参加者に対し、町の移住・定住の施策などを紹介しました。



△セミナーには首都圏に住む移住希望者が参加